

# 第73回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2022年9月23日(金) **14:00~15:30**

場所 早稲田大学79号館(STEP22)201教室・オンライン同時開催  
(Zoom、詳細は案内メールに記載)

## 演題 フランス柔道の実像～日本と何がどう異なるのか？～

磯直樹(東京芸術大学社会連携センター)・

星野映(早稲田大学グローバルエデュケーションセンター)・

中嶋哲也(茨城大学教育学部)

ここ10年の間、フランス柔道に関するメディアの報道は増えている。世界柔道の強豪国として注目を集めているだけではない。日本を凌ぐ柔道人口、安全な柔道指導など、柔道先進国としての一面が脚光を浴びているのである。

しかし、日本におけるフランス柔道の報道は必ずしも正確ではない。例えば、10年程前のことであるが、フランスでは大外刈りは危ないので初心者には教えないといった報道が流れていた。この報道を演者の中嶋は、「国が違えば柔道文化も異なるんだなあ」と素直に受け止めていた。数年後、とある会合で中嶋は磯とフランスの大外刈りの話になり、「あれ、そんなことないですよ。私が調査した道場では小さい子にも教えていますから」と聞かされた。磯はフランス留学の経験があり、フランス柔道の研究もしていたので、現地の状況に大変詳しくあった。中嶋はいかに自分が無知であるかを恥じ入ると同時に、果たして日本で報道されているフランス柔道のトピックは正確な知見に基づいているのだろうか、と疑念を抱くようになった。

こうした、経緯から中嶋は磯とフランス柔道史を研究している星野に声をかけて論文集を作成することにした。その目的はフランス柔道に関する知見をできるだけ網羅的かつ正確に論じることだった。その成果として、2022年6月に青弓社から『フランス柔道とは何か 教育・学校・スポーツ』を出版するに至った。

当研究会ではこの6月に出版した著書をもとにした研究報告を行う。磯と星野はフランス柔道の現況とそれに至る歴史的経緯を報告し、中嶋は戦後日本柔道の在り様を大まかに辿り直す。これらの報告を踏まえて、当研究会ではフランス柔道と日本柔道がどういった点で違うのかを参加者とともに考えたい。(文責、中嶋)

### ■ プロフィール:

磯直樹(東京芸術大学社会連携センター。専攻は社会学史、社会調査)

星野映(早稲田大学グローバルエデュケーションセンター。専攻はスポーツ史、スポーツ社会学)

中嶋哲也(茨城大学教育学部。専攻はスポーツ人類学、武道論)



■ 星野映他(2022)

『フランス柔道とは何か: 教育・学校・スポーツ』



早稲田大学 スポーツ科学学術院  
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 松岡宏高・中川剣人・工藤龍太  
早稲田大学 スポーツ科学学術院  
E-mail: ryutak77@aoni.waseda.jp